

ちよつ
ひといき

茶ぐわく ゆんたく

153



首里・那覇を結ぶ 要路・真栄原



▲真栄原十字路 1969(昭和44)年
右側の書店側を行くと佐真下へ、左側の内張所側を行くと嘉数へ向かいます。



▲現在の真栄原十字路 2016(平成28)年

左上の写真は、1969(昭和44)年の真栄原十字路です。付近には嘉数小学校や中学校、キングスクール(現沖縄カトリック小学校)の教育施設があり、文具店や薬局、美容室、写真館などの店舗がありました。

交通面では嘉数、浦添の西原を経て首里方面に向かう道、また我如古から大

謝名や軍道1号線(現・国道58号)へ行く道として利用されました。また、1990(平成2)年に西原トンネルが正

式開通するまでは、国道330号としての役割も果たしてきました。

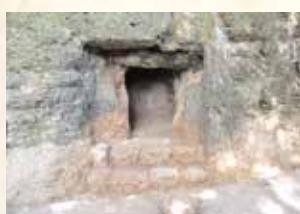
左下の写真は、現在の真栄原十字路です。歩道や車道、側溝も整備されて街の雰囲気も変わりました。現在と戦前の十字路の位置は多少異なりますが、交通の要路として利用する子ども達の元気な姿も変わりありません。

【問合せ】

市立博物館 870-9317

其の29

ぎのわんの歴史・文化遺産を歩く



岩盤を削り出した墓口



そして、墓庭の調査も本格的に始めていました。墓口の手前に設けられた二段の切石や蓋石(墓口を塞ぐ石)に関わると思われる溝も見ることができました。

また、墓口の手前に設けられた二段の切石や蓋石(墓口を塞ぐ石)に関わると思われる溝も見ることができました。そして、墓庭の調査がある程度進むと墓室の調査も本格的に始めてい

墓口手前の切石や溝



墓室に納められたウシの下顎骨

【問合せ】文化課 893-4430

はじめに

今回は昨年に実施した発掘調査の成果を速報として紹介したいと思います。今回紹介するのは「喜友名後原(クシバル)丘陵古墓群」という比較的古いお墓が集中する遺跡地に所在する掘込墓です。

調査の成果

お墓は大きく分けて墓室と墓庭で構成されており、今回の調査ではま

ず墓庭の造り方(造成方法)を確認するために地面を掘り下げました。すると、墓庭のほぼ全面で岩盤を粗く削って大まかな平坦面を造っていますが、古墓の正面付近では丁寧に岩盤を削り出して墓口(墓室出入口)を設けていることが確認できました。

また、墓口の手前に設けられた二段の切石や蓋石(墓口を塞ぐ石)に関わると思われる溝も見ることができました。ところで、今月二十八日は旧正月です。皆さんも親戚の方にご先祖様やお墓のことなどを尋ねて先人たちに思いを寄せてみるのはいかがでしょうか。